



「いのちの講話」で学んだ命の大切さ(2年生)



7月1日(水)、助産師として長年活躍されている後藤敬子先生をお招きし、「いのちの講話」を開催しました。後藤先生からは、命が誕生するまでの奇跡や思春期の心と体の変化、そして人とのつながりの大切さについてお話いただきました。

生徒たちは講話を通して、自分が多くの人の愛情と支えの中で生まれ育ってきたことを改めて実感し、「親への感謝を伝えたい」「家族や友達を大切にしたい」「一日一日を大切に生きたい」といった感想を数多く寄せました。

また、「人それぞれの個性を認め合いたい」「困っている人に手を差し伸べられる人になりたい」「言葉の重みを考えて行動したい」と、自分自身の生き方について見

つめ直す機会にもなりました。

生徒たちが感想の最後に選んだ二文字には、「感謝」「大切」「成長」「笑顔」「前進」「未来」などが多く見られました。講話で学んだことをこれからの生活に生かし、自分も周囲の人も大切にしながら成長していったほしいと思います。

後藤先生からいただいた学びをこれからの人生や学校生活、家庭生活の中で生かしていきたいと思います。

生徒の感想より

「親と一緒にいられる時間を大切にしようと思いました。」

「困っている人がいたら助けられる自分になりたいと思いました。」

「自分の命も相手の命も大切にしようと思いました。」

「言葉の一つ一つを大切にしていきたいと思いました。」

「先生の話の中で『人の人生を簡単にこわしてはいけない』『YesとNoを言える人になってね』という言葉に心をうたれました。

「お母さん、お父さんがいなければ自分たちは存在しなかったと思うので、親に感謝したいです。」

「今の自分があるまでどれだけの人が苦勞してきたかを考えながら生活していこうと思いました。」

「相手が傷ついていたときに、心にばんそうこうを貼ってあげたいと思いました。」

「人それぞれ違った体や性格、特徴があるので、個性を認め合い尊重して生活していきたいです。」

「人にやさしくすることによって、相手も自分も周りの人も笑顔になるのだと思いました。」

「人は心が傷つくたび、ばんそうこうをはり、そのたびに強くなっていくことを知ることができ、失敗をおそれず、失敗しても前を向き、落ち込まず生きていきたいと思いました。」

「13年間大切に育ててくれた家族に『ありがとう』と言いたいと思いました。」



キャリア講座を実施しました(1年生)



6月26日(金)、1年生を対象にキャリア講座を実施しました。講師としてお招きした鶴岡市教育委員会帯谷先生から、「自分の才能や強みを知ること」をテーマにお話をいただきました。

講座では、MI(多重知能)理論に基づく診断シートを活用し、生徒一人一人が自分の得意なことや興味・関心について考えました。また、「できるようになりたいこと(Will)」「できること(Can)」「しなければならないこと(Must)」の視点から自分自身を見つめ直し、将来の夢や職業について考える活動にも取り組みました。

さらに、日常生活の中でうれしかった出来事やそのときの感情、自分が大切にしている願いや価値観を整理するワークを行いました。自分の気持ちや考えを見つめることで、「自分らしさ」について理解を深める貴重な時間となりました。

生徒たちからは、「自分にもたくさんの得意なことがあると分かった」「将来について考えるきっかけになった」「友達と違う良さがあることを知ることができた」などの感想が聞かれました。

今回の講座で学んだことを今後の生活や進路学習に生かし、自分の可能性を広げていったほしいと思います。

体育祭リーダー研修会

7月7日、体育祭の各軍・各学級のリーダーが集まり、リーダー研修会を実施しました。グループでの話し合いでは、一人一人が考えるリーダー像を付箋に書き出し、意見を整理しました。

みんなが考えたリーダー像

① 責任感がある人

- ・責任感がある
 - ・責任をもって最後までやり切る
 - ・責任を持てる
 - ・任された仕事を、責任をもって行う
- 自分の役割や約束に責任を持ち、最後までやり遂げる人。**

② 自ら行動できる人

- ・行動力がある
 - ・自分から行動できる
 - ・積極的に行動できる
- 指示を待つだけではなく、自ら考えて率先して行動する人。**

③ 人をまとめられる人

- ・人をまとめられる
 - ・クラスをまとめられる
 - ・全員をまとめられる
 - ・チームを引っ張る
- みんなを一つの方向に導き、協力できる集団をつくる人。**

④ 周りを見て気配りができる人

- ・周りのことをよく見ている
 - ・周りに流されない
 - ・思いやりがある
 - ・人のために動ける
- 周囲の状況や仲間の様子に気付き、必要な行動ができる人。**

⑤ 信頼される人

- ・頼られている人
 - ・信頼される人
 - ・人から信頼される
 - ・誰にでも親切な人
- 仲間から信頼され、安心して任せられる人。**

⑥ コミュニケーションが取れる人

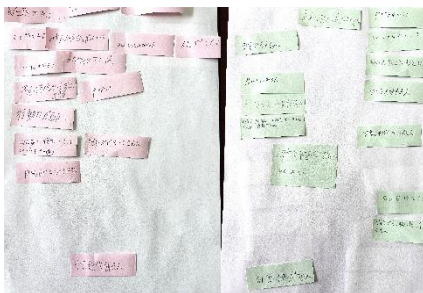
- ・呼びかけができる
 - ・人の意見が聞ける
 - ・男女関係なく話せる
 - ・みんなに気軽に話せる
 - ・人にやさしい
- 誰とも関わり、自分の考えも相手の考えも大切にできる人。**

⑦ 明るく前向き

- ・ポジティブな人
 - ・明るい人・元気な人
 - ・やる気がある人
 - ・盛り上げ上手
 - ・全員を楽しませられる
- 明るい雰囲気をつくり、みんなの意欲を高められる人。**

⑧ 公平で正しい判断ができる人

- ・善悪の判断ができる
 - ・ルールを守れる
 - ・えこひいきをしない
- 公平な視点で物事を考え、正しい判断ができる人。**



研修では、「全体に伝えたいことがあるのに、話し声が聞いてもらえない」という場面を想定したケーススタディも行いました。生徒たちからは、

「大きめの声で注意する。」「リーダーが進んで声をかける。」「近くの人から声をかけてもらう」「名指しで注意する」「スピーカーを使って呼びかける」「学年リーダーが全体に働きかける」「太鼓をたたいて注目を集める」など、さまざまな解決策が挙げられました。

話し合いを通して生徒たちは、「相手をただ注意する」のではなく、「どうしたら相手に伝わるのか」「みんなが動きやすくなるためにはどんな工夫が必要か」という視点で考えることの大切さに気付いていました。

今回の研修は体育祭に向けたものですが、**リーダーシップが必要なのは体育祭だけではありません。**授業や生徒会活動、部活動など、**学校生活には仲間のために動き、周囲に働きかける場面が数多くあります。**

生徒一人一人が自分のよさを生かしながら、必要な場面で行動できる「それぞれのリーダー」になってほしいと願っています。**前に立ってみんなを引っ張る人だけでなく、周りを支える人、気付きを伝える人、仲間を励ます人も大切なリーダーです。**

体育祭に向けた活動を通して、生徒たちが主体的に考え、仲間と協力しながら学校全体をよりよくしていく力を育んでくれることを期待しています。

留守番電話対応へのご理解をお願いします

本校では、教職員が生徒と向き合う時間や授業準備の時間を十分に確保し、よりよい教育活動につなげていくため、令和8年7月17日(金)より、留守番電話による対応(18:00~翌7:40)を実施いたします。

お子様の安全に関わる緊急の場合は、QRコードよりポータルサイトにアクセスし、緊急連絡を行ってください。

保護者の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと存じますが、本取組の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。



(文責：校長)